愛板
愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市昭和区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226

委員長会議報告

今年度第2回目となる委員長会議が2月9日午後3時より県板事務所にて開催され、正副理事長と8委員会の正副委員長の計18名が出席した。（欠席3名）

齋藤理事長が挨拶した後、議事に入り、理事長が議長を務めた。

(1)委員長報告

各委員会の活動状況と委員の出席率について次の様に報告された。

毛利総務委員長

・総務委員会の主要な活動は総代会、全板大会、新年懇親会の準備である。当面は全板長崎大会と総代会が近づいており、3月の委員会で十分に詰めていく。

・委員の出席率は良い。

高橋広報委員長

・来年の新年号は第400号となるので記念号としたい。又、同年5月号は全板愛知大会特集号とし、全国からの大会参加者に配布したい。

・今秋をめどに「愛板」の紙面サイズをA4判に改め、文字を大きくし、読み易い紙面にしたい。その見積りを現在依頼中である。

・出席率の悪い委員が4名いるが、欠席でも記事を送ってくれる委員もいる。

・名古屋ブロックからの委員をもう1名選出してもらいたい。

松代技術研究委員長

・まだ具体化していないが、銅板に関する講習会を開きたい。その準備として昨年11月に新城市の馬場氏宅を委員7名が訪問し指導を受けた。

・委員それぞれを専門化（瓦棒とか横葺とかの作業別に）して研究していく。

・一部の委員の欠席がある。

加納技能委員長

・16年度技能検定試験の説明会が3月2日に開かれる。その後委員会を開く。

・実技試験は従来通り7月の第3日曜日に実施する予定である。

・受験資格要件の抜本的緩和により、今回大幅な改正が行われた。その中で、2級の受験資格の実務経験が3年から2年になったが、板金職種において、これでは経験不足と思われる。この件に関して県板としての方針を決めてほしい。

これを受けて当会議にて協議した結果、県板の方針として次の様に決定した。

・原則として法で定められたものであるので受験申請を拒む事は出来ない。しかし経験年数が3年以上必要である事を指導していく。

・委員の出席率は良い。

加藤厨房空調委員長

・10月23日24日に講習会を岡崎技術工学院にて実施する。内容は未定であるが「職長教育」または「有機溶剤」についてを検討している。これについては建災防と相談して決定したい。

・委員会の出席者が少ない。

籾山経営研究委員長

・日新工業のルーフィングを今後も取扱っていく。

・リフォーム講習会に個人的に参加したが大変勉強になった。8月にも講習会が開催される。30～40名の参加があれば単独で講習会を開ける。受講希望のアンケートをとり講習会開催の参考にしたい。

・消費税改正に伴い、これに関する勉強会を検討する。

西俣保証委員長

・保証申請者数を150名とする目標を立てているが、現在まだ95名である。目標達成の為に支部長に協力依頼の文書を送る。

・保証制度のステッカーのデザインについて2案の見本ができているので意見を聞かせてほしい。配布方法について次の委員会で案を作る。

・1ブロック委員の出席率が悪い。

沼澤厚生委員長

・県板共済加入率は44・4％である。60％を目標に活動している。

・委員26名、理事9名の未加入がある。

・国民年金基金については、委託先の明治安田生命の働きかけにより6名が加入した。今後も加入促進に務める。

以上の報告の後、欠席の多い委員に対して、委員長は委員としての認識の確認をとり対応を考える様に、理事長から要請された。

(2)委員会の今後の進め方について

全板愛知大会が来年に迫り、それに伴う事務量が多くなってきた。現在の事務局の体制ではオーバーワークとなり通常業務に支障をきたす恐れがある。そこで少しでも事務局の仕事を軽減する為に、従来事務局が行って来た次の作業を今後は委員会で行う事に決定した。

・委員会開催要領および議題は委員会で作成する。

・議事録は委員会で作成する。書記は原則として副委員長が担当する。

(3)その他

①県板40周年記念式典の開催について

全板愛知大会後の6月に総代会を開催し、これと合わせて記念式典を行いたいが、総代会開催時期について定款上問題があるので、今後総務委員会で検討する。

②16年度基幹技能者講習について

現在、受講者の仮申込み中である。6月頃に開催される予定である。取扱いの担当は技術研究委員会とする。

③ファインスチール講習会について

メーカーから助成を受けて実施したい。詳細は三役会で検討する。

05全板愛知大会ロゴマーク

上段【赤】は太陽、中段【緑】は風、下段【青】は水を表す。

2005愛知
全国建築板金業者大会

委員会報告

保証委員会

開催日時　2月13日午後3時
出席者　9名
欠席2名

(1)保証事業への協力要請について

・保証申請者数150名の目標を達成する為に、各支部長へ協力依頼の文書を送る事を決めた。又、委員においても個々に協力を依頼する。

・保証申請がまだ1件も出されていない支部に対しては、委員長やブロック長より特によくお願いをする。

・各ブロックに10～20名の新規申請者を出してもらえる様に依頼する。

(2)ステッカーの作成について

・カラー印刷と白黒印刷の見本と見積りが提出された。どちらに決めるか、又、その配布方法はどうするか委員会の案を作る。三役会等に計り、承認されしだい作業に掛る事とする。

(3)その他

・保証品目の内で窯業系の外壁と屋根は当分の間申請を受付けない。

・愛知県外の物件でも、当該県の県板と施主の合意があれば、愛知県板で保証書の発行ができる。

厚生委員会

開催日時　2月18日午後3時
出席者　13名
欠席1名

(1)県板共済加入促進について

・2月18日現在の加入率は44・4％となっている。

・加入率の目標を60％とし、その方策として、未加入の各委員会の委員26名と理事9名には全員加入してもらえる様に働きかける。又、各支部にも更に2～3名の加入をお願いする。

(2)国民年金基金への加入促進について

・昨年11月より委託提携を結んだ明治安田生命保険相互会社が勧誘し、6名が新規加入した。

・国民年金基金の掛金は平成16年4月より値上げになる。今までの掛金での加入は3月31日までとなる。加入希望者がいれば、県板事務局もしくは左記へ連絡をする。

連絡先

明治安田生命保険相互会社
名古屋本部　名古屋第2メリック営業室
室長　船戸要士夫
名古屋市中区金山1丁目12の14　金山総合ビル7F
電話　321－1870

第26回全国建築板金競技大会

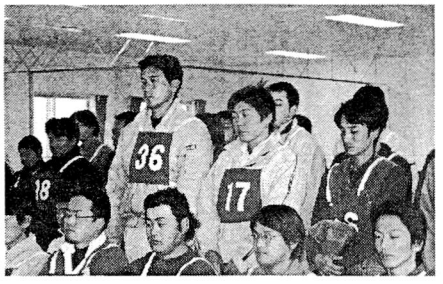
2月7・8日の両日、全板連・㈳日板協青年部主催の競技大会が富士宮市「富士教育訓練センター」で開催された。

愛知県からは、1月の県予選会で上位入賞した「技能競技の部」砂塚耕二君、澤田雄三君（共に岡崎支部）の2名が出場し、全国からの選手36名と共に技を競いあった。

初日は受付終了後、開会式・記念写真撮影・競技上の注意説明が行われた。

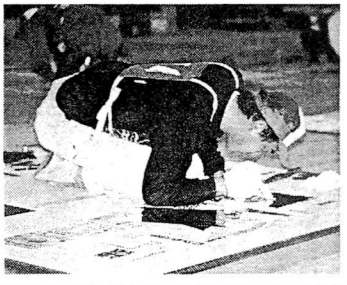
写真撮影時は、例年なら間近の富士山が山頂まではっきり見えるのに、今年初めて山頂が雲に隠れてしまっていた。

両選手は翌日に備えて夕食後、各々の時間を過し日頃より早めに就寝についた。



▶愛知代表
澤田雄三君（ゼッケン36）
砂塚耕三君（ゼッケン17）

▶熱心に作業する選手たち



▶銅板にけがきをいれる愛知代表選手

2日目は付添者2名と応援4名が見守る中、午前8時に競技が開始された。応援の中に選手の親がいて、心配そうに我が子を見守っていた。

展開図の作図は別室で行われ、40～50分後に選手達が次々と足速やに作業場へと入って来た。そしてすぐさま作業にかかった。時間が進むにつれ外は寒いのに中は熱気をおびてきて、暖房を止めるくらいだった。

両選手共に標準時間内に作品を完成させ提出した。

競技終了後、昼食をはさんで閉会式が行われた。その時の選手の表情は「終わってホッとした」「これでやっと気が楽になった」という競技前の険しい表情からは、打って変わっていた。

閉会式終了後、帰路についた。

県板青年部　宇野

新春板金セミナー

毎年1月の恒例行事となっている新春板金セミナーが、今年は会場の都合で2月22日に愛知県産業貿易館西館で開催された。

主催は愛知県板金総合職業訓練協会、名古屋板金連合会、尾張板金連合会、愛板知多支部。後援が愛知県板金工業組合、中部ダクト工業協同組合。

今回は第30回目となる。

参加者の大半が名古屋、尾張、知多地区の板金業者で、メーカーや商社と合わせて約180名が集った。

午前10時より午後3時まで開かれ、3つの講演があった。

「今年の景気と経営」
名南経営センターグループ
代表　佐藤澄男氏

「念願叶って名古屋祭り　三英傑家康で天下取り」
愛知県菓子技術専門校
副校長　小島三津雄氏

「板金技能専門校あれこれ」
愛知県板金技能専門校
相談役　加藤一夫氏

協賛会社の紹介と商品説明があり、最後に、出席者全員に当る福引きが行われた。

▶熱弁をふるう小島氏

岡崎支部 創立50周年記念式典

岡崎支部は組合創立50周年を記念して、2月15日(日)岡崎ニューグランドホテルで記念式典と祝賀会を開催した。

式典には、国会議員、市長、市会議員、商工会議所会頭、県能力開発協会専務理事、岡崎技術工学院理事長、そして県板からの来賓等88名と支部組合員、従業員および青年部員103名の総勢191名が出席し盛大に行われた。

岡崎支部は昭和29年2月15日に35名が集まり、組合創立総会を開き発足した。初代組合長は高柳浅次郎氏（高柳一男県板副理事長の祖父）。現在8代目の組合長（支部長）を高柳一男氏が務め、63名の組合員がいる。

式典では、各種の表彰が行われた。組合活動に貢献した役員、組合員、全国技能競技大会で入賞し、岡崎の技能レベルの高さを全国に知らしめた青年部員、さらに永年勤続で事業所に貢献した従業員など55名に表彰状や感謝状が贈られた。

又、組合創立当時、役員をされ、現在の様な組合になる基礎を作られた長老の6名の方が紹介され、大きな拍手を受けられた。

50周年の記念誌も発刊され出席者全員に配られた。B5判、194ページで、この中には、組合員の子弟関係を示す系図が掲載されている。また、「会員の声」と題して、組合員と青年部員の全員が、それぞれ1ページに写真入りで、家族、趣味、事業所の歴史、仕事への思い等が綴られている。

出席者の多くから、この記念誌を絶賛する声が聞えた。

岡崎　宇野

▶あいさつする高柳支部長

▶表彰者

▶祝賀会風景

曼陀羅堂大修理と絵天井

「曼陀羅寺」は「藤の花」がきれいで親しまれている寺です。

当山は開基以来670年有余の歴史を歩み、桧皮葺、13間四面で国の重要文化財である。

現在、本尊は阿弥陀如来、観世音菩薩、勢至菩薩の阿弥陀三尊、国・県、指定の重要文化財が多く所蔵されている尾北第一の名刹である。

寛正3年6月23日、当山第3世空光上人の代に当山に伝わり、円福寺と称していた寺号を、日輪山曼陀羅寺と改称し今日に至る。一宮、尾西、尾張地方で織物や、農産物の豊作などを祈願し栄えた。

念仏門の檀林として信仰の中心として浄土西山の法灯を伝え近郊は言うに及ばず、各地より参詣も多く、各種文化財の諸堂山内一山の各寺院配置、建築様式、日本屈指の寺院と賞賛され、憩いの場となって親しまれている。

明治24年10月、濃尾大地震によって倒壊、半壊の大災害より、3年後に諸堂を修理復興されたが、その後台風や雪、降雨などの災害により、最近は「ハネ木」が折れ、瓦の老化が進み部分修理が限界となり、貴重なお堂や仏像、絵天井の絵画が被害を受けるため、現在は大修理中ですが、藤の花が咲くころには完成の予定です。

その時は、あまり知られていない178枚の美しい絵天井の絵画を、一度ごらんになって下さい。

江南　石井

▶絵天井

▶絵天井

豊田支部 親睦ボーリング大会

去る2月21日(土)、豊田市元町の美鳥里（ミドリ）ボールに於いて恒例の親睦ボーリング大会を開催しました。

今回の参加者は18事業所・82人と例年より多く出席していただきました。これは、お孫さんの参加と横山興業（問屋）さんの参加人数が増えたからです。

ゲームは午後7時にスタートし2ゲームのトータルピンで順位を争いました。ゲーム終了後、場所をミーティングルームに移して表彰式を行い男性の部1位加藤孝治氏（横山興業）、女性の部1位甲斐ちさとさん（横山興業）、子供の部1位伊藤りなちゃん（いとう板金工作所）という結果になりました。加藤さん・甲斐さんは一昨年のチャンピオンです。

私も、家族といっしょに投げさせていただきましたが結果は47位。昨年より順位を下げました。（去年の愛板に書いた事ですが、自分と同年代の方でお孫さんを抱っこしている人の数が増えたことと、その前の年までお母さんに抱っこされていた子が、今年は重いボーリングのボールを一生懸命投げていたことで、回数を重ねるといろんな事が見えてくるなあと思いました。）ともに自分の年齢にハタと気づかされました。

▶各部門優勝者と赤池支部長（右）

支部企画委員会（鈴木昭人氏・杉浦一義氏）の設営、健闘により多数の組合員さんに参加をいただき、横山興業㈱様にもたくさん参加していただきました。また、恒例賞品のティッシュペーパーも盛り沢山でした。参加された方全員が楽しまれたボーリング大会であったと思います。

豊田　松井

2月各支部の動き

千種支部
8日　支部会　5名
・全板大会および支部費値上げについて、他

東北支部
12日　定例会　6名
・保証事業及び県板共済への協力依頼

熱田・南支部
19日　月例会　8名

緑支部
17日・18日　支部総会（ホテル小野浦）

春日井支部
10日　定例会　14名
・今後の行事について
25日　役員会
・支部旅行について、他

津島支部
5日　定例会　6名

江南支部
15日　定例会　6名
・会計監査、他

岡崎支部
7日　役員会　23名
・50周年式典及び定期総会について、他
15日　50周年式典　191名
20日　青年部役員会　8名
21日　青年部通常総会　16名

碧南支部
11日　青年部定例会　30名
20日　青年部ボーリング大会

刈谷支部
19日　役員会　8名
・全板大会について、他

豊田支部
14日　第10回役員・班長会　11名
・県板報告及び第48回総会について
21日　親睦ボーリング大会（ミドリボール）　81名
28日　役員会　10名

西尾支部
11日　役員会　15名
・県板報告、他

知多支部
10日　第5回理事会　14名
・支部総会について
28日　臨時理事会　13名
28日　第4回役員会　26名

東三支部
6日　定例会　24名
18日　青年部定例会　7名
22日・23日　親睦旅行（芦原温泉）　27名
26日　三役会　6名

県板青年部
1日　幹事会　16名
・全国建築板金競技大会について（反省、他）
・第25回通常総会について

組合章

愛板

編集後記

いろんな会合に出席すると旧知の人との再開がある。

岡崎の50周年祝賀会で長老に会えた。3人の長老は私をおぼえておられた。いちばん挨拶をしたかった2人の長老は席を立たれた後だったので非常に残念だった。

新春セミナーでは中川港支部の西川さんが声をかけて下さり、うれしかった。私は少々内気な面があり、この会で二人の方に挨拶できなくて、申し訳なく反省している。一人は恩師の加藤先生。もう一人は全板興業の篠原さん。「愛板」の編集責任者として挨拶しなければいけなかった。氏との思い出が一つある。

十数年前、現在のあすなろ研究会の2次会で、ある機械屋さんを入れて4・5人で飲んだ。篠原氏曰く「この機械屋さんはブラジャーのフロントホックの特許を取った。それをメーカーに売った金で山林を買い……。機械屋さんは変な人が多いよ。」

これからも、一期一会いろんな出会いを大事にしたい。

高橋

二月二十六日(木)晴一時曇り
三九一号　編集会議
広報委員　八名出席
午後二時半開会五時閉会